

〔館員随想〕

大和文華館の新しいオリジナルグッズ

大和文華館では現在、10月のリニューアル開館に向けて様々な準備を進めています。その中の一つにオリジナルグッズの作成があります。以前は絵葉書と数種のクリアファイル、一筆箋、筆ペン、複製品などのグッズがありましたが、リニューアルに際してミュージアムショップを大幅に拡大し、グッズの種類や数も増やす予定です(リニューアル後のグッズ一覧予定を本文最後に掲載)。

美術館で作品鑑賞をした後、その余韻を楽しむため、気に入った作品を記憶に留めておくため、自らの鑑賞体験を知り合いに伝えるためにグッズを購入された方も多いのではないのでしょうか。

ミュージアムグッズの筆頭には展覧会図録よりも手軽な複製品として絵葉書が挙げられるでしょう。しかし現在は各館で様々な種類のグッズが開発されており、展覧会のお土産としての性格を持つとともに、館の性格をあらわす媒体としての役割も果たしています。特に各館のオリジナルグッズは、館のシンボルマークや代表的な所蔵品をデザイン源として、館や名品をより身近に感じてもらうとする意図が感じられます。例えば大英博物館のロゼッタストーンや故宫博物院(台北)の翠玉白菜などで、ロゼッタストーンは大小のレプリカからノート、ジグソーパズルやネクタイまで様々なグッズが作

られています。

ミュージアムグッズを見せるショップは欧米がアジアと比べてより充実している感があります。イギリスのヴィクトリア&アルバート美術館内にあるミュージアムショップ入り口のディスプレイを一例に挙げると、ショップ自体が一つの展示室のように華やかにデザインされています(図1)。

またミュージアムグッズだけでなくショップの性格も多様化しており、所蔵品とは直接関係の無い、しかしデザイン性の高いグッズを揃えたセレクトショップとして機能しているところも増えています。

大和文華館では開館50周年を迎えるにあたって、館員にとってほぼ初めての経験といえますが、大量のオリジナルグッズの開発を進めてきました。その中心となるデザイン源は作品・建物意匠・文華苑の植物で、これらは大和文華館の核となる三大要素といえるものです。

建築は吉田五十八氏の設計になり、真っ白な漆喰と深い青緑色による海鼠壁が印象深い外観がまず目につきますが、それ以外にも建物内外の随所でデザインが目を引きます。外壁海鼠壁の下方に配された石組み(図2)や講堂壁面の木組み文様(図3)などです。グッズでは木組み文様を用いたTシャツやブロックメモ、クリアファイルなどを予定しており、また布製商品に付けるタグにも用いら

れます。

作品の小さな写真ともいえる絵葉書は種類を増やし、全106種類となります。色絵おしどり香合(野々村仁清作)は側面だけではなく正面や背面、上面からも撮影し、展示ではなかなか見られない姿を含めています。色絵おしどり香合のおしどりは、鷹狩壇輪像とともに図案化され、ボールペンやクリアファイル、ストラップなど多くの品目に登場します。

作品を意匠に取り込んだものにはこの他、中村内蔵助像(尾形光琳筆、図4)に描かれた内蔵助が身につけている衣の文様(図5)を染めた麻布を用いたバッグやデジカメケース、ラナー(敷物)などがあります。京都の呉服商の家に生まれた光琳が描いた装束意匠は、現代の私たちにとても粋に感じられるのではないのでしょうか。

また、今年は工事で苑内には入っていただけませんでしたが、毎年楽しみに見に来て下さる方も多いササユリや桜、梅など文華苑の植物もクリアファイルやストラップなど日常身近に置けるグッズになります。

多くのグッズを予定していますが、これらのグッズは現在まだ出来あがっておらず、色校正や素材の確認など製作者と共に進めている段階です。基本的にグッズに添える大和文華館の文字は、開館当初より入口に掲げられていた看板文字(図6)の書体を用い、新しいデザインの中にも今までの大和文華館を感じられるグッズを目指しています。

リニューアル開館時には、展示場や建築、文華苑とともに、新しく

なったショップにも是非お立ち寄り下さい(図7)。

(学芸部員 瀧朝子)

オリジナルグッズ一覧(予定)

1. 絵葉書
2. 文房具
 - ・一筆箋
 - ・レターセット
 - ・メモパッド・付箋
 - ・麻製メモカード
 - ・ボールペン
 - ・竹筆ペン・筆ペン
 - ・クリアファイル(A4・A5・B6)
 - ・スタンプ
3. 雑貨
 - ・フィルム製しおり・竹製しおり
 - ・キーホルダー・ストラップ
 - ・ペンケース(麻製・柿洪染布製)
 - ・麻製デジカメ入れ
 - ・麻製ブックカバー
 - ・手鏡
 - ・湯呑
 - ・マグカップ
4. 布製品
 - ・ハンカチ
 - ・てぬぐい
 - ・小風呂敷
 - ・麻製ラナー(敷物)
 - ・麻製バッグ・エコバッグ
 - ・柿洪染布製東袋
 - ・Tシャツ
5. 複製品など
 - ・色紙
 - ・額装
 - ・ミストグラフ
 - ・屏風仕立て

図1



図2



図3



図4



図5



図6



図7(完成予想図)



季刊 美のたより No.171

平成22年8月1日

発行 大和文華館